

高く 広く 強く 豊かに



2026（令和8）年1月16日

伊賀市立阿山中学校

No.12 伊賀市千貝 10 番地

<http://www.iga.ed.jp/ayama-j/>



学校だより



～2025年度学校マニフェスト学校自己評価について～

2学期末には、全校生徒と保護者の皆さまに本校教育活動推進のためのアンケートにご協力いただきありがとうございました。18の質問項目から学校マニフェストの達成状況等を重点目標中心にお知らせいたします。なお、達成率（％）は、アンケートにお答えいただいた回答の4つの選択肢（「Aそう思う」、「B少しそう思う」、「Cあまりそう思わない」、「Dそう思わない」）のA+Bを肯定的な回答としてまとめました。 ※学校マニフェストに掲げました目標値は＜ ＞の中に示しています。

【学力の視点から】

1、授業がわかる ＜85%以上＞

肯定的な回答（A+B）（1学期）（昨年度）

生徒 91%（91%）（86%）

保護者 74%（70%）（68%）

	A	B	C	D
全校生徒	35%	56%	8%	1%
全保護者	22%	52%	22%	4%

2、平日の家庭学習90分以上 ＜80%以上＞

肯定的な回答（A+B）（1学期）（昨年度）

生徒 49%（59%）（57%）

保護者 34%（27%）（36%）

	A	B	C	D
全校生徒	19%	30%	33.5%	17.5%
全保護者	18%	16%	36%	30%

3、授業で自分の意見や考えを発表する ＜80%以上＞

肯定的な回答（A+B）（1学期）（昨年度）

生徒 94%（95%）（84%）

	A	B	C	D
全校生徒	48%	46%	6%	0%

分析と改善の方向性

1（授業がわかる）や3（授業で自分の考えを出す）の結果からも、授業には前向きに取り組もうとする姿が現れています。ただ、授業で「わかった」ことを自分の力で「できる」ようにするには、家庭等で繰り返し学習することが必要になります。そのため、中学校では2（平日の家庭学習90分以上）をめざしています。これについては、今年度も課題が残りました。保護者アンケートで記述いただいたご意見にも家庭での学習の様子や過ごし方についての課題をあげていただいています。特に、1、2年生の数値が1学期に比べて低くなっています。

しかし、ご家庭に協力いただいたメディアコントロールチャレンジについては、家庭生活を見直す機会となっているというご意見を多数いただいています。

- ① 生徒の学習意欲がさらに高まるよう、授業内容の見直し等を学校全体で検討していきます。
 - ・効果的なペアやグループ学習を活用し、応用問題や記述問題にも対応できるよう、あきらめない姿勢を磨きます。
 - ・わかりやすい授業を創造するため、ICT機器の有効活用を促進します。
- ② 家庭での学習習慣がつくよう内容や時間についての学習相談をおこないます。
 - ・宿題や自主学ノート、タブレット学習の活用方法等の指導をしていきます。
 - ・メディアコントロールチャレンジの振り返りを通しての助言及び指導をおこないます。

【人権の視点から】

4、自分の思いや伝えたいことが安心して言える <80%以上>

肯定的な回答 (A+B) (1学期) (昨年度)	A	B	C	D
生徒 82% (82%) (76%)	41%	41%	14%	4%
保護者 92% (92%) (93%)	56.6%	35%	5.4%	3%

5、人権を尊重する生き方を学んでいる <90%以上>

肯定的な回答 (A+B) (1学期) (昨年度)	A	B	C	D
生徒 99% (97%) (94%)	59.5%	39.7%	0%	0.8%
保護者 90% (88%) (96%)	59%	31%	10%	0%

6、先生は努力したことを認めてくれる <90%以上>

肯定的な回答 (A+B) (1学期) (昨年度)	A	B	C	D
生徒 88% (94%) (90%)	54%	34%	8%	4%
保護者 95% (94%) (94%)	57.3%	37.4%	4.5%	0.8%

7、信頼できる友達がいる <90%以上>

肯定的な回答 (A+B) (1学期) (昨年度)	A	B	C	D
生徒 96% (93%) (92%)	73.2%	23%	3%	0.8%
保護者 94% (95%) (94%)	72.5%	21.4%	5.3%	0.8%

分析と改善の方向性

5(人権を尊重する生き方)については、人権学習や全校人権集会での学びを自分に寄せて考えられるようになってきた生徒が増えています。保護者の回答もほぼほぼ同じ数値となっており、学校で学んだことをお家でも話し合われていることがわかります。ただ、教師とのコミュニケーションも1学期よりも低下しています。また、4(自分の思いを安心して言える)については、18%の生徒がそうでないと回答していることから、よりきめ細やかに生徒同士の関係を見ていく必要があると考えます。

- ① 互いを認め合い、それぞれの思いや考えを語り合える関係性を築いていくために、狙いを持った人権学習を進めます。
 - ・人権学習や体験学習のねらいをあきらかにし、学習後の教育相談を大切にします。
 - ・人権問題を教師自らの課題と捉えられるよう、さまざまな研修の機会を活用します。
- ② 「気づく力・感じる力」とともに「行動する力」につながる取組をしていきます。
 - ・地域・保護者の皆さまの力を借りながら年間2回以上の全校人権集会を充実させていきます。

【キャリアの視点から】

8、学校へ行くことは楽しい<85%以上>

肯定的な回答 (A+B) (1学期) (昨年度)	A	B	C	D
生徒 90% (92%) (86%)	65%	25%	8%	2%
保護者 92% (88%) (86%)	55%	37%	5%	3%

9、自分には夢・目標がある<80%以上>

肯定的な回答(A+B)(1学期)(昨年度)

生徒 81%(85%)(69%)

保護者 69%(68%)(63%)

	A	B	C	D
全校生徒	52%	29%	12%	7%
全保護者	43%	26%	26%	5%

10、自分には良いところがある<80%以上>

肯定的な回答(A+B)(1学期)(昨年度)

生徒 84%(83%)(79%)

保護者 99%(100%)(100%)

	A	B	C	D
全校生徒	44%	40%	11%	5%
全保護者	85.5%	13.7%	0.8%	0%

11、学校の約束やきまりを守っている<80%以上>

肯定的な回答(A+B)(1学期)(昨年度)

生徒 97%(98%)(93%)

保護者 92%(94%)(94%)

	A	B	C	D
全校生徒	67%	30%	0.8%	2.2%
全保護者	66%	26%	8%	0%

分析と改善の方向性

8(学校へ行くことが楽しい)とする生徒は、引き続き目標を上回り、他のアンケートからも日常生活を充実させようとしている姿がうかがえます。しかしながら、9(自分には夢・目標がある)は、わずかですが1学期に比べ低い結果となっています。ただ、アンケートの「進路や職業の学習から将来を見つめることが出来ている」という項目では3年生が1学期よりも大きく向上しました。これは、進路学習等を通して、目標を考えることをきっかけに自分の長所や短所について考え、自分に向き合う機会を持てたことが背景にあると考えられます。

- 一人ひとりの生徒が自分を見つめ成長していく過程で、自分のキャリア形成を明確にして希望の進路実現を図れるよう取り組みを進めていきます。
 - ・生徒が将来の目標を持てるよう、教育相談を継続的におこない、自分と向き合う機会にします。
 - ・キャリア学習の体験や活動前の教育相談のなかで、「どんな自分になりたいのか」「このことは、何につながっているのか」を自分とつなげて考えさせていきます。
- 1年生から系統的に進路学習を進め、高校卒業後の将来の目標をもつ機会づくりをおこないます。
 - ・1年生:ドリームマップ学習 2年生:職場体験学習 3:進路学習・出会い学習

【地域とのつながりの視点から】

10、学校は、家庭や地域とのつながりを大切にしている<90%以上>

肯定的な回答(A+B)(1学期)(昨年度)

保護者 86%(88%)(87%)

	A	B	C	D
全保護者	29.8%	56.5%	12.2%	1.5%

～保護者の皆さまへ～

ご多用の中、アンケートにご協力いただきありがとうございました。アンケート結果は、全教職員で共有し、改善のための協議をしました。また、記述欄につきましても、お子様の家庭での様子、授業について、クラスの人間関係等についてあげていただきました。今後も皆様との対話を大切にし、より一層生徒一人ひとりの理解に努めていきます。今回の結果を指導の反省点として真摯に受け止め、生徒たちとの関わりを深め、将来の進路につながる夢や希望を描けるよう、学校全体で取り組んでまいります。

<お願い>

3学期もメディアコントロールチャレンジを実施する予定です。期間は、2/18(水)～20(金)の3日間です。お時間をいただきますが、子どもたちへの励まし等のメッセージもよろしくお願いします。